

ベストプラクティス企業の職場を訪問しました！

高知労働局（局長 園田 智幸）は、11月8日「過重労働解消キャンペーン」の一環として、長時間労働の削減などに向けて積極的に取り組むベストプラクティス企業への職場訪問を実施しました。

今回のベストプラクティス企業は複合型医療施設の企画運営を核に調剤薬局事業、介護事業などを展開する「アイ・エム・シーグループ」で、このうち同グループの企業が運営する介護施設を訪問し「魅力ある介護の職場づくり」について、情報収集を行いました。その取組内容を、ご紹介いたします。

訪問企業 (株)アイ・エム・シーライフステージ 介護施設 大原

- ・施設所在地 高知市大原町88-2
- ・従業員数 30名
- ・施設概要 グループホーム、小規模多機能、居宅介護支援事業を併設した施設



【介護施設 大原】



【西野専務(左)から説明を受ける園田局長(右)】

<アイ・エム・シーグループ概要>

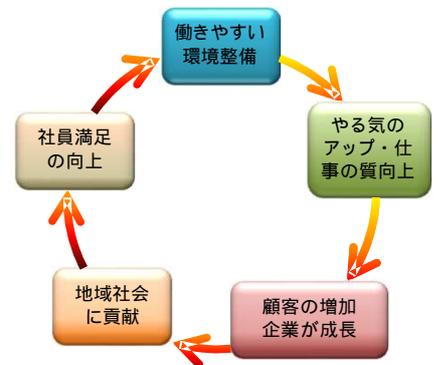
- 創業 平成10年10月
- 本部所在地 高知市竹島町13番地1
- 代表者 グループ代表 山本速男
- グループ (株)アイ・エム・シーホールディングを中心に、7社で構成する企業グループ
- 従業員 グループ全体335名(平成29年10月末現在)
- 事業内容 複合型医療施設の企画運営を核に、調剤薬局事業、介護事業を展開

アイ・エム・シーグループの主な取組について

勤務環境の整備に対する山本速男社長の考え

- ・『お客様満足と全社員の幸せの追及』を経営理念として掲げ、その実現のため、働きやすい職場環境づくりに努めています。
- ・社員の満足度を高め、モチベーションと仕事の質を高め、その結果お客様満足が高まり、顧客が増加し企業が成長する。社員の待遇向上、社会貢献へと繋げ、その結果、さらに社員の満足が高まっていくことを理想の姿として、日々仕事に取り組んでいます。

皆さんも好循環に向けた取組を始めてみませんか？



働きやすい勤務環境を目指して行っている具体的な取組

情報共有・コミュニケーションの円滑化の取組

- ・社内報、多彩な福利厚生イベント、座談会の開催など、コミュニケーションの円滑化の取組により、「残業の抑制と休暇取得」を全員の共通認識として浸透させていること。

残業時間の抑制

- ・システムソフト導入により集計業務の効率化を図り、勤務実態をリアルタイムに把握することにより残業の申告漏れや特定の者への業務集中を防ぎ、残業時間の短縮を図っていること。

年次有給休暇の取得促進

- ・リフレッシュ休暇（連続休暇）の取得奨励やフロアー会などミーティングの場を通じた取得しやすい雰囲気づくりに努めていること。

他社を経験し再び戻ってくる職員も増加！

働きやすい勤務環境を目指したことにより生じた効果

介護事業における従業員一人当たりの月平均所定外労働は6.9時間に減少し、年次有給休暇の取得率が58%に上昇した。さらに、定着率の向上につながっている。